

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21131	法河川維持管理事業	都市整備部	道路河川管理課	2
21132	スクリーン等管理事業	都市整備部	道路河川管理課	3
21132	汚泥最終処分事業	都市整備部	道路河川管理課	4
21132	ポンプ場運転管理事業	都市整備部	道路河川管理課	5
21132	河川水門管理事業	都市整備部	道路河川管理課	6
21132	下水道台帳整備事業(下水排水路)	都市整備部	道路河川管理課	7
21132	下水排水路等整備事業	都市整備部	道路河川管理課	8
51111	道路等補修事業	都市整備部	道路河川管理課	9
51111	横断歩道橋補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	10
51111	私道整備事業	都市整備部	道路河川管理課	11
51111	橋梁補修工事業	都市整備部	道路河川管理課	12
51111	道路環境管理事業	都市整備部	道路河川管理課	13
51111	松山マイロードふれあい制度	都市整備部	道路河川管理課	14
51111	交通安全施設(二種)整備	都市整備部	道路河川管理課	15

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	長曾我部 俊彰	担当	塩見 加奈子	野本 朋寛

1.事業概要【Plan】

事業名	法河川維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21131							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進	根拠法令	河川法第16条				
取組みの柱	河川改修の推進						
目的・背景	河川法第16条の規定に基づき、安全・安心が持続可能な河川管理を実現するために必要な河川の品質を設定し、点検・除草・堆積土砂の撤去・樹木伐採などを実施している。堆積土砂撤去等を計画的に実施することで、河川の流下断面を確保し、河川災害の発生を防止することを目的としている。						
対象・内容	管理している準用河川に対して、流下断面を確保するため、堆積土砂撤去等の工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	準用河川の堆積土砂撤去工事費用		7,504
予算(千円)	事業費計	6,796	11,396	6,796					
	国費・県費								
	市債	3,600	3,600	3,600					
	その他								
	一般財源	3,196	7,796	3,196					
決算(千円)	事業費計	327	9,064			主な取組内容【R4】	・太山寺川の浚渫工事を実施。		
	国費・県費								
	市債		2,700						
	その他								
	一般財源	327	6,364						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記事項			
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	施設破損	目標	0	0	0	0	適切に事業実施できている。		
		実績	0	0					
	現状維持	河川	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業全体を通して、河川の流下断面確保に貢献できたため。							
課題	特に無し。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	河川災害の予防に貢献できているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	長曽我部 俊彰	担当	安倍 伸弥	野本 朋寛

1.事業概要【Plan】

事業名 21132	スクリーン等管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進		-	-	-	-	
主な取組	浸水対策・がけ崩れ対策の推進	根拠法令					
取組みの柱	浸水対策の推進						
目的・背景	水路に設置しているスクリーン等のゴミを除去することで、流下断面を確保し、浸水及び事故の発生を防止することを目的としている。						
対象・内容	水路に設置しているスクリーン及び樋門の管理の協力者に対して、報償費を負担し、維持管理の協力活動を通じた浸水及び事故の防止を図る。						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	スクリーン管理の地元協力者への報償費	2,305	
予算(千円)	事業費計	2,470	2,446	128,088				主な取組内容【R4】	・スクリーン及び樋門の管理の協力者に、報償費を負担。
	国費・県費			1,190					
	市債								
	その他								
	一般財源	2,470	2,446	126,898					
決算(千円)	事業費計	2,418	2,386			特記事項	R5は河川水路施設管理事業に名称変更し、本事業にR4のポンプ場運転管理事業、河川水門管理事業、スクリーン等管理事業を統合		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,418	2,386						
人役	正規職員	0.1	0.1	2.0					
	その他	0.1	0.1						
	合計	0.2	0.2	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	協力者の確保		目標	67	67	67	67	適切に事業実施できている。
			実績	67	67			
	現状維持	延人数	達成率	100.0%	100.0%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	事業全体を通して、浸水被害の軽減に貢献できたため。						
課題	特に無し。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	浸水対策に貢献できているため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	長曾我部 俊彰	担当	塩見 加奈子	安倍 伸弥

1.事業概要【Plan】

事業名	汚泥最終処分事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
21132							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進	根拠法令					
取組みの柱	浸水対策の推進						
目的・背景	水路に堆積した汚泥等を除去・搬出・処分することで、流下断面を確保し、浸水・悪臭の発生を防止することを目的としている。						
対象・内容	町内会・土地改良区等及び直営が除去・洗浄した汚泥に対して、処分業務を委託し、関係団体及び直営が実施する除去・洗浄活動をサポートする。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	74,284	80,000	0		主な経費 (千円) 【R4 決算】	汚泥の処分費用		55,145
	国費・県費						汚泥運搬車の借上げ費用		8,581
	市債								
	その他								
	一般財源	74,284	80,000						
決算 (千円)	事業費計	58,670	63,755			主な取組 内容 【R4】	・最終処分場に、町内会・土地改良区等及び直営が除去・洗浄した汚泥の処分を委託。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	58,670	63,755						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.0		特記 事項	R5は河川水路管理事業(R4事業名での下水排水路等整備事業)に事業統合		
	その他	0.1	0.1						
	合計	0.2	0.2	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果 指標	処分依頼への対応率	目標	100	100	100	100	適切に事業実施できている。	
		実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	事業全体を通して、浸水被害の軽減に貢献できたため。						
課題	特に無し。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	関係団体から依頼された量を処分できているため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521		
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	長曾我部 俊彰	担当	安倍 伸弥	野本 朋寛	

1.事業概要【Plan】

事業名	ポンプ場運転管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託		
21132									
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	災害等に強いまちをつくる			-	-	-	-		
施策	防災対策等の推進								
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進		根拠法令						
取組みの柱	浸水対策の推進								
目的・背景	ポンプを運転するために、定期点検等を実施することで、故障等を未然に発見・修理して確実に運転させ、浸水の発生を防止することを目的としている。								
対象・内容	雨水排水ポンプ場に対して、定期的な点検整備業務を委託し、確実な運転をサポートする。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	ポンプ施設を稼働するための光熱水費		27,771
予算(千円)	事業費計	86,833	83,225	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	86,833	83,225						
決算(千円)	事業費計	79,593	69,041			主な取組内容【R4】	・雨水排水ポンプ場を稼働させるため、燃料・光熱水・通信等費を負担。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	79,593	69,041						
人役	正規職員	2.0	2.0	0.0		特記事項	R5は河川水路施設管理事業(R4名称でのスクリーン等管理事業)に事業統合		
	その他								
	合計	2.0	2.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	稼働率	目標	100	100	100	100	適切に事業実施できている。		
		実績	100	100					
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業全体を通して、浸水被害の軽減に貢献できたため。							
課題	電気料金や燃料費が高騰する中、浸水被害の軽減のためには、必要経費を確保していく費用がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	浸水対策に貢献できているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521		
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	長曾我部 俊彰	担当	安倍 伸弥	野本 朋寛	

1.事業概要【Plan】

事業名	河川水門管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
21132							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進	根拠法令					
取組みの柱	浸水対策の推進						
目的・背景	水門を運転するために、定期点検等を実施することで、故障等を未然に発見・修理して確実に運転させ、浸水の発生を防止することを目的としている。						
対象・内容	水門に対して、定期的な点検整備業務を委託し、確実な運転をサポートする。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	10,670	13,732	0		主な経費 (千円) 【R4 決算】	水門等の管理等の委託料		8,875
	国費・県費	1,046	1,190				水門の運転管理に係る事故に伴う賠償		7,293
	市債						水門施設の修繕等の工事費用		2,941
	その他								
決算 (千円)	事業費計	12,254	21,082			主な取組内容 【R4】	・設備等保守点検業者に、定期的な点検整備業務を委託。		
	国費・県費	1,195	1,195						
	市債								
	その他		7,293						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記事項	R5は河川水路施設管理事業に事業統合。事故に伴う賠償のため。		
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果 指標	施設破損	目標	0	0	0	0	適切に事業実施できている。	
		実績	0	0				
	現状維持	箇所	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	事業全体を通して、浸水被害の軽減に貢献できたため。						
課題	特に無し。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	浸水対策に貢献できているため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	長曾我部 俊彰	担当	塩見 加奈子	岸田 広夢

1.事業概要【Plan】

事業名	下水道台帳整備事業(下水排水路)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
21132								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる			-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進							
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進		根拠法令					
取組みの柱	浸水対策の推進							
目的・背景	水路の実態(管路の位置、埋設深さ、管種、マンホールの形状、排水経路)を調査して台帳整備することで、情報を共有化することを目的とする。							
対象・内容	水路に対して、実態の調査及び台帳整備業務を委託し、地下埋設物の協議及び道路・水路の整備計画をサポートする。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	下水道台帳整備のための委託料		8,023
予算(千円)	事業費計	12,859	11,907	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	12,859	11,907						
決算(千円)	事業費計	11,020	13,195			主な取組内容【R4】	・建設コンサルタントに、30haの水路の実態調査及び台帳整備を委託。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	11,020	13,195						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.0		特記事項	R5は河川水路管理事業に事業統合。台帳整備にかかる公営企業局への負担金の増のため。		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積	目標	30	30	30	30	適切に事業実施できている。		
		実績	30	30					
	現状維持	ha	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	整備予定面積を継続的に実施できているため。							
課題	特に無し。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	適切に情報共有化ができていないため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	長曾我部 俊彰	担当	塩見 加奈子	安倍 伸弥

1.事業概要【Plan】

事業名	下水排水路等整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21132								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる			-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進							
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進		根拠法令					
取組みの柱	浸水対策の推進							
目的・背景	老朽化及び断面不足となっている法定外水路を改良整備することで、排水機能を確保することを目的としている。							
対象・内容	水路に対して、排水機能を確保するため、改良及び補修の工事を実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	水路の補修工事費用		379,359
予算(千円)	事業費計	657,864	572,570	507,879					
	国費・県費								
	市債		2,000	2,000					
	その他								
	一般財源	657,864	570,570	505,879					
決算(千円)	事業費計	516,283	404,028			主な取組内容【R4】	・法定外水路の改良及び補修工事を実施。		
	国費・県費								
	市債		500						
	その他		9,762						
	一般財源	516,283	393,766						
人役	正規職員	5.0	5.0	4.0		特記事項	R5は、河川水路管理事業に名称変更し、本事業に汚泥最終処分事業、下水道台帳整備事業、下水排水路整備事業を統合		
	その他								
	合計	5.0	5.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	改良整備に伴う改善率	目標	100	100	100	100	適切に事業実施できている。		
		実績	100	100					
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業全体を通して、浸水被害の軽減に貢献できたため。							
課題	特に無し。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	排水機能の向上に貢献できているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	道路担当	連絡先	948-6834	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	玉井 祐一	担当	村上 雄亮	山下 潤一郎

1.事業概要【Plan】

事業名	道路等補修事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	居住環境の整備						
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	舗装や道路施設の老朽化などで歩行者や車両の通行に支障をきたさないよう、適切に維持管理する必要があることから、市道の路面や道路施設等を適切に維持管理することで、事故の防止と通行の円滑化を行うことを目的として事業を実施している。						
対象・内容	市道や道路施設を対象に、日常のパトロール、路面定期点検、通報などに基づき、補修工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	道路の補修工事等		550,535
予算(千円)	事業費計	673,523	704,589	419,755					
	国費・県費	21,000	36,803	70,619					
	市債	75,000	91,000	85,300					
	その他	98,000	98,000	98,000					
	一般財源	479,523	478,786	165,836					
決算(千円)	事業費計	589,000	563,567			主な取組内容【R4】	市道の舗装補修工事 路面下空洞調査業務委託 道路排水施設、法面・路肩復旧工事		
	国費・県費	22,922	13,440						
	市債	75,500	78,800						
	その他	101,253	100,537						
	一般財源	389,325	370,790						
人役	正規職員	2.0	2.0	3.4		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.1					
	合計	2.0	2.0	3.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	道路機能保全対策事業等施工箇所(社総金+公適債)	目標	16	23	25	30	適切に事業実施できている。	
		実績	22	23				
	累計で増	路線	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	道路施設の適切な維持管理に努めた。						
課題	道路や道路施設の老朽化により、維持管理が必要な箇所が増大しているため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き道路や道路施設の適切な維持管理に努めるため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	計画・法定外担当	連絡先	948-6834	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	玉井 祐一	担当	村上 雄亮	山下 潤一郎

1.事業概要【Plan】

事業名	51111 横断歩道橋補修工事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-	
施策	居住環境の整備							
主な取組	生活道路等の整備・維持管理		根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理							
目的・背景	経年劣化等による損傷が顕著になってきたことから、計画的に補修工事を進める必要があることから、市が所有する横断歩道橋の適切な維持管理による事故の防止と通行の円滑化を目的として事業を進める。							
対象・内容	市が所有する13橋の横断歩道橋について、定期点検を行うとともに、年間1～2橋ずつ計画的に塗り替えなどの補修工事を実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	鉄道事業者への鉄道用地の市道橋の工事委託		3,748
予算(千円)	事業費計	13,530	178,000	0					
	国費・県費	7,441	97,900						
	市債		72,000						
	その他		0						
	一般財源	6,089	8,100						
決算(千円)	事業費計	15,743	3,748			主な取組内容【R4】	和気駅跨線道路橋塗装工事		
	国費・県費	8,593	2,061						
	市債	0	1,500						
	その他	0							
	一般財源	7,150	187						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.0		特記事項	R5は橋梁等補修工事業に事業統合。R4→R5繰越額は当該事業に合算。R4の執行率の理由は、鉄道事業者との協議に時間を要したため		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	長寿命化対策工着手横断歩道橋数	目標	3	4	5	6	適切に事業実施できている。		
		実績	3	4					
	累計で増	路線	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	横断歩道橋の適切な維持管理に努めた。							
課題	横断歩道橋長寿命化計画を見直し、判定Ⅲとなった横断歩道橋の修繕時期を明確にする。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き横断歩道橋の適切な維持管理に努めるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	計画・法定外担当	連絡先	948-6834		
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	加地 幸徳	担当	渡部 聡	三浦 良輔	

1.事業概要【Plan】

事業名	私道整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
51111									
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-		
施策	居住環境の整備								
主な取組	生活道路等の整備・維持管理		根拠法令	松山市私道整備事業実施要綱					
取組みの柱	生活道路等の維持管理								
目的・背景	一般通行の用に供される公共性がある私道の整備を促進し、市民の生活環境の向上を図ることを目的に、昭和48年10月に「松山市私道整備事業実施要綱」を制定し、以降、要件を満たす私道の舗装に取り組んでいる。								
対象・内容	「松山市私道整備事業実施要綱」の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施するために工事請負費等を支出								

2. 事業実施【Do】

		会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	私道整備事業費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	私道の舗装補修工事費		6,593
予算(千円)	事業費計	18,239	14,297	36,854					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	18,239	14,297	36,854					
決算(千円)	事業費計	13,885	6,593			主な取組内容【R4】	・舗装工事の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	13,885	6,593						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	R4執行率の理由は、申請者等との調整が付き、工事可能となった箇所が少なかったため		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	前年度申請に対する工事完了件数	目標	9	13	2	-	適切に事業実施できている。		
		実績	9	13					
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	申請を受付けた箇所について、舗装工事を実施することが出来た。							
課題	私道管理者の高齢化等により、個人での維持管理が難しくなっている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	私道の維持管理への補助については、費用対効果など、慎重に検討する必要があるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	道路担当	連絡先	948-6834	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	玉井 祐一	担当	村上 雄亮	山下 潤一郎

1.事業概要【Plan】

事業名	橋梁補修工事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	居住環境の整備						
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	道路橋梁の老朽化などで歩行者や車両の通行に支障をきたさないよう、計画的に橋梁を維持管理する必要があることから、長寿命化及び維持管理コストの平準化を図りながら道路橋梁を適切に維持管理することを目的に事業を進める。						
対象・内容	道路橋梁を対象に工事を行い機能を回復するとともに、橋梁の長寿命化を図る。あわせて、法定点検を実施する必要があるため、計画的に点検、調査を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	橋梁の補修工事等		129,142
予算(千円)	事業費計	632,542	530,118	677,171					
	国費・県費	161,257	148,500	360,291			橋梁補修のための設計委託等		75,991
	市債	405,600	85,000	159,800					
	その他		0	0					
一般財源	65,685	296,618	157,080						
決算(千円)	事業費計	297,860	205,133			主な取組内容【R4】	橋梁定期点検 橋梁補修工事		
	国費・県費	102,835	53,290						
	市債	121,400	17,300						
	その他	0	0						
一般財源	73,625	134,543							
人役	正規職員	2.0	2.0	2.1		特記事項	R5に横断歩道橋補修工事業と統合R4執行率の理由は、工事が予定工期に完了しなかったこと等による		
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	長寿命化対策設計委託着手重要橋梁数	目標	21	23	25	27	適切に事業実施できている。	
		実績	21	23				
	累計で増	路線	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	橋梁の適切な維持管理に努めた。						
課題	橋梁の老朽化により、維持管理が必要な箇所が増大しているため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き橋梁の適切な維持管理に努めるため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	総務担当	連絡先	948-6907		
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	山本 浩司	担当	露原 彰悟	山本 梨絵	

1.事業概要【Plan】

事業名	道路環境管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託		
51111									
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-		
施策	居住環境の整備								
主な取組	生活道路等の整備・維持管理		根拠法令	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)					
取組みの柱	生活道路等の維持管理								
目的・背景	路面、道路照明灯、街路樹は、定期的かつ適切な維持管理が必要であることから、通行に支障がないよう道路環境の維持管理を行う。								
対象・内容	路面、道路照明灯、街路樹等の維持管理を適切に行う。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	街路樹管理、草刈り、清掃、排水ポンプ管理等の委託料	道路照明灯の光熱費	107,232
予算(千円)	事業費計	155,200	156,048	564,554					
	国費・県費			127,398					
	市債			219,400					
	その他								
	一般財源	155,200	156,048	217,756					
決算(千円)	事業費計	157,506	163,211			主な取組内容【R4】	街路樹やフラワーロードの草花等を適切に管理することで快適な路上空間の確保に努めた。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	157,506	163,211						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項			
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和18年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	道路照明灯のLED化	目標	-	-	50	100			
		実績							
	累計で増	%	達成率						
成果指標	道路照明灯の管理コストの低減	目標			50,000	10,000			
		実績							
	累計で減	千円	達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道路照明灯と街路樹の管理を適切に行うことができたため。							
課題	道路照明灯、街路樹等のいずれも管理コストを低減させる必要がある。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	ESCO事業の状況を見ながら、現行の事務事業の形を見直す必要がある。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	総務担当	連絡先	948-6907		
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	山本 浩司	担当	露原 彰悟	山本 梨絵	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山マイロードふれあい制度		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営		
51111									
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-		
施策	居住環境の整備			-	-	-	-		
主な取組	生活道路等の整備・維持管理		根拠法令	まつやまマイロードサポーター事業実施要綱、まつやまマイロードコミュニティ事業補助金交付要綱					
取組みの柱	生活道路等の維持管理								
目的・背景	市道の環境美化活動を通じて、身近な存在である市道の愛護意識を高めることを目的としている。								
対象・内容	市道で植栽や清掃活動を行う団体等に対し、種苗や清掃用具等を支給する。 また、予め市が認定した市道沿線で除草を行うまちづくり協議会に対し、補助金を支給する。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	種苗、清掃用具等消耗品費	まちづくり協議会への補助金	978
予算(千円)	事業費計	1,345	1,390	1,615					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,345	1,390	1,615					
決算(千円)	事業費計	1,145	1,074			主な取組内容【R4】	R4時点で68団体の活動をいただいた。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,145	1,074						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項			
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	物品の支給(種苗除く)	目標	-	-	40	40	-		
		実績	40	36					
	現状維持	団体	達成率						
成果指標	活動団体数(休止中団体除く)	目標			70	70	-		
		実績	67	68					
	現状維持	団体	達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	コロナ禍の間、活動状況は低下したものの、団体数の大幅な減少を招くことなく、活動の再開につなげることができた。							
課題	団体数、活動数が横ばいとなっており、増加を図る必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	ニーズに応じた物品支給等の市の活動を通じ、コロナ禍で縮小したボランティア活動を回復させ、今後、増加を図る必要がある。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	道路担当	連絡先	948-6834	
部長等名	白石 浩人	課等長名	安永 浩二	リーダー	玉井 祐一	担当	村上 雄亮	山下 潤一郎

1.事業概要【Plan】

事業名	交通安全施設(二種)整備	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	居住環境の整備						
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	交通事情の悪化による交通事故の増加に対し、早急な道路安全施設の整備が求められていることから、交通事故の防止と交通の円滑化を図る必要がある。そのため、交通事故が多発している道路その他通学路などの特に交通の安全を確保する必要のある道路について、道路標識、防護柵や区画線など安全対策に必要な道路付属物の整備を行い交通事故の防止と交通の円滑化を図ることを目的に事業を進める。						
対象・内容	交通事故が発生している市道、その他通学路などの特に交通の安全を確保する必要のある市道について、道路標識などの整備を行い、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。						

2. 事業実施【Do】

		会計	松山市一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	区画線等、交通安全施設整備の工事		48,698
予算(千円)	事業費計	97,963	86,393	50,429					
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	97,963	86,393	50,429					
決算(千円)	事業費計	86,469	48,698			主な取組内容【R4】	区画線、防護柵、カーブミラー等の設置		
	国費・県費	0							
	市債	0							
	その他	0							
	一般財源	86,469	48,698						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	R4執行状況の理由は、区画線等の交通安全施設(二種)の工事を要する箇所が当年度は想定より少なかったため		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	工事着手率	目標	165	102	100	100	申請や通報を受けた案件については、速やかに工事着手することが出来た。	
		実績	165	102				
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%			
		目標				100		
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	本事業の実施により交通事故の防止と交通の円滑化に資することができた。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き交通安全施設整備に努めるため。	